

内閣官房及び内閣法制局・内閣府本府入札等監視委員会

第20回会議議事概要

開催日及び場所	第20回会議 平成25年9月26日(木) 内閣府3階特別会議室
委員	委員長 國廣 正 (弁護士) 委員 今井 猛嘉 (法政大学大学院法務研究科教授) 委員 大森 明 (横浜国立大学大学院国際社会科学研究院准教授) 委員 長岡 美奈 (公認会計士) 委員 寺田 麻佑 (国際基督教大学教養学部法学・公共政策デパートメント准教授)
議事	○ 平成25年度 第1四半期の契約に係る審議 ○ その他

○平成25年度 第1四半期の契約に係る審議	
審議対象期間	平成25年4月1日～平成25年6月30日
対象案件の説明	○ 対象期間における契約の全体(内閣官房101件・内閣法制局6件・内閣府265件)について事務局から説明 ○ 審議案件の抽出の考え方について当番委員から説明 抽出にあたっての関心事項 ・落札率が低い案件について予定価格が適正に積算されているか、また、参考見積の徴取について確認する。 さらに以下の観点から各案件を絞込み
審議抽出案件	4件
【競争契約】 最低価格落札方式	(官)1件 (関心事項) 落札者が契約実績の多い事業者であれば予定価格の積算をもっと工夫できたのではないかを確認する。 契約件名：内閣官房拉致問題対策本部ホームページ改修に係る業務 契約相手：株式会社オーエムシー 契約金額：1,216,285円 契約日：平成25年6月14日 担当部局：内閣官房拉致問題対策本部事務局
【競争入札】 最低価格落札方式	(府)1件 (関心事項) 1者しか応札がない事業であればもっと市場価格を予定価格に反映できたのではないか、なぜ1者応札なかったかを確認する。 契約件名：会議等に供する飲料等の提供 契約相手：東京コカ・コーラボトリング株式会社 契約金額：1,621,200円 契約日：平成25年4月1日 担当部局：内閣府大臣官房会計課

<p>【競争入札】 最低価格落札方式</p>	<p>(府) 1件 (関心事項) 予定価格が適正に積算されているか、また、参考見積を徴取する際偏った等級の業者になっていないかを確認する。</p>	<p>契約件名：国際平和協力本部事務局ホームページ改修整備業務 契約相手：株式会社SAY企画 契約金額：1,382,587円 契約日：平成25年6月19日 担当部局：国際平和協力本部事務局</p>
<p>【競争入札】 総合評価落札方式</p>	<p>(府) 1件 (関心事項) 予定価格が適正に積算されているか、また、参考見積を徴取する際偏った等級の業者になっていないかを確認する。</p>	<p>契約件名：内閣府一般職採用案内パンフレット（2013年版）の作成 契約相手：株式会社商業デザインセンター 契約金額：378,000円 契約日：平成25年5月17日 担当部局：内閣府大臣官房人事課</p>
<p>委員からの意見・質問 それに対する回答等</p>	<p>別紙のとおり</p>	
<p>委員会による意見の 具申又は勧告の内容</p>	<p>なし</p>	

意見・質問	回答
<b>1 内閣官房拉致問題対策本部ホームページ改修に係る業務</b>	
以前から市場の価格調査をする際に何か独自の方法があるといいのではという意見が出されていたが、何か進捗状況等があったら説明してほしい。	参考見積りを取るにあたり、仕様書の閲覧の時期、タイミングの公平性を期するため、一般に公開して市場価格調査という形で行うこととした。
市場に住み分けがあるような事業であれば、小規模、中規模、大規模の事業者から1者ずつ声かけをして参考見積りをとりミディアムなサイズを得ることも方法かと思う。	
ウェブサイトの案件は、業者の能力や経済性を含めて比較的最低価格方式がフィットする場合もあるが、総合評価方式の方がフィットする場合もある。今回、最低価格方式を採用した経緯を教えてください。	総合評価方式はもっと高度で大規模なもので採用している。今回の案件は、HP関係の技術があれば誰でも参入できる内容であることから、履行体制証明書の審査を行う最低価格方式を採用した。
本案件は、政権が非常にその対策に重点を置いている分野であることから、特別な場合として総合評価方式を採る可能性はなかったのか。	今回の案件は、リニューアルをするという内容の質のレベルで判断した結果、最低価格方式を採用した。このような案件については内容の質的なものを判断して、最低価格方式にするか、総合評価方式にするかいろいろ工夫を重ねていきたい。

## 2 会議等に供する飲料等の提供

<p>1者入札という案件で、かなり不定期に大量のものの調達を行う業務ということから大きな事業者でないと無理だと思うがほかに参加者はないのか。コンビニエンスストアは参入する余地があると思われる。</p>	<p>10本、20本のペットボトル飲料を指定した日時に配達となるとかなり手間として大変なことから、大きい業者が強いという実感がある。コンビニエンスストアは役所の周辺にたくさんあるので近くの店舗から配達が対応可能と考えられるがこれまでは入札に参加してくる場所がなかったもので、調達情報の周知が今後の課題だと考えている。なお、今年8月からは、調達情報を内閣府のホームページに掲載するだけでなく、メールマガジンの配信も始めている。</p>
<p>前の事例では、参考見積りを3者ぐらいに声をかけてということだが、業者から参考見積りの提出依頼はしなかったのか。</p>	<p>インターネット通販のカタログ価格を参考に予定価格を作成したことから参考見積りの提供依頼は行っていない。</p>
<p>予定価格を作成するにあたり、カタログ価格は少量発注も含めた価格と考えられるため、年間で大量の発注をするものであれば、参考見積りを2者、3者と取る方法が良い。</p>	<p>調達情報を周知することと同時に、参考見積りを取るに当たり幅広く声をかけるという工夫をしていきたい。</p>

### 3 国際平和協力本部事務局ホームページ改修整備業務

前の審議案件の「ホームページ改修に係る業務」後の入札であり、今回の予定価格を立てるときに生かさなかったのか。

昨年12月までの入札情報は得ていたが、今回1週間ぐらい前に入札した案件の情報を得ていなかった。それが分かれば予定価格を変更するなりの考えがあったと思う。契約担当官が別のため、横の連絡が密でなかった。

ホームページの改修等は内閣府に限らず多くあるはずなので、縦割りではなく情報を共有化することが国民全体の税金の使い方を効率化することになるような気がする。

パターン化して類似のものは極力情報共有に務めていきたい。契約担当官がいくつもあるところ、各契約担当官同士がこの例のように入札日が近接して同様の入札を行うものをどういうふうリアルタイムで把握するか工夫していきたい。

#### 4 内閣府一般職採用案内パンフレット（2013年版）の作成

パンフレットの入札額が過去、同様の金額で推移しており、今回作成するパンフレットのページ数が少なくなるということは、より価格が下がるという推測が立つ。したがって、過去の実情を加味し、今回の参考見積りを基にした予定価格を下げたとしても、合理的な判断であったと考えられる。

仕様書を閲覧のうえ、3者から参考見積りの提出があり、総合評価方式ということで提出のあった参考見積りの平均値を予定価格としたところ。総合評価方式の場合、提案の度合いに応じて業者が価格を設定するため、高い提案をして高い金額を入れて予定価格を超えるか、超えないかということが生じてしまう。そういったところを加味して、予定価格を設定していかなければならないと考えている。

○その他